



2022年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月11日

上場会社名 エコートレーディング株式会社
 コード番号 7427 URL <http://www.echotd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理財務本部長
 四半期報告書提出予定日 2022年1月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 豊田 実
 (氏名) 堀 和仁
 TEL 0798-41-8317

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の連結業績(2021年3月1日～2021年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	69,891	8.5	277	40.9	293	50.8	169	17.7
2021年2月期第3四半期	64,388	3.4	197		194		143	

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 197百万円 (23.4%) 2021年2月期第3四半期 258百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	28.10	
2021年2月期第3四半期	23.87	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第3四半期	32,584	9,020	27.6
2021年2月期	30,412	8,943	29.3

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 8,988百万円 2021年2月期 8,911百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期		10.00		10.00	20.00
2022年2月期		10.00			
2022年2月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,901	5.0	420	32.9	420	35.9	262	8.3	43.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期3Q	6,036,546 株	2021年2月期	6,036,546 株
期末自己株式数	2022年2月期3Q	10,445 株	2021年2月期	10,445 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期3Q	6,026,101 株	2021年2月期3Q	6,026,101 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(四半期連結損益計算書関係)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大により、度重なる緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置が適用され、経済活動の抑制や個人消費の低迷など、厳しい状況が続きました。一方で、ワクチン接種の進展等により新規感染者数は減少傾向に向かい、長期にわたる社会経済活動の制限は徐々に緩和され、各種政策の効果や海外経済の改善もあり、持ち直しの動きが続くことが期待されますが、感染再拡大のリスクは解消されておらず、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

ペット業界におきましては、前年の新規飼育者の増加による需要拡大などの影響はあったものの、原材料価額の高騰による仕入価額の上昇、業界内の価格競争激化及び人件費や物流コストの上昇など、依然として厳しい環境が続いております。

このような状況の下、ペットフード・ペット用品の卸売事業につきましては、2021年3月1日より4統括部体制から営業本部をヘッドクォーターとする本部制へ再編することで各統括部における責任と役割の明確化とともに意思決定と行動のスピードアップに取り組んでおります。

また、ペットの専門知識や企画力の向上、お客様毎の経営環境に合わせた的確な提案実施を目的に人材への投資に積極的に取り組むと同時に、物流面に留まらないあらゆる面でのローコストオペレーションを継続し、利益改善に取り組んでまいります。

一方、ペッツバリュー株式会社では、「ペットオーナーの悩みに寄り添えるお店」をコンセプトに店舗開発事業におけるサービスレベルの向上に注力した結果、管理店舗数は268店舗まで増加し、また、商品開発事業ではオリジナル商品の開発に注力するとともに既存商品の拡販に努めてまいりました。

また、株式会社I&Iでは、お客様へのプロモーション戦略の強化並びに新たなチャネル開拓への取り組みなどにより、卸売事業の販売促進企画に注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、698億9千1百万円（前年同期比8.5%増）となりました。また、物流コストなどの変動費の増加による販売費及び一般管理費の増加はあったものの、在庫管理の徹底による適正在庫での運用及び更なる効率化により、営業利益は2億7千7百万円（前年同期比40.9%増）となりました。

経常利益は2億9千3百万円（前年同期比50.8%増）となり、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億6千9百万円（前年同期比17.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ21億7千2百万円増加し、325億8千4百万円となりました。これは、主に現金及び預金が9億5百万円、未収入金が1億1百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が27億2千6百万円、商品が4億4千9百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ20億9千5百万円増加し、235億6千4百万円となりました。これは、主に未払金が3億2千3百万円減少したものの、短期借入金が27億円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ7千7百万円増加し、90億2千万円となりました。これは、主に利益剰余金が4千8百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年10月1日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,446,681	3,540,915
受取手形及び売掛金	18,020,163	20,747,122
商品	3,240,594	3,689,936
貯蔵品	11,571	11,552
未収入金	2,424,829	2,323,174
その他	80,064	80,543
貸倒引当金	△22,678	△23,428
流動資産合計	28,201,227	30,369,815
固定資産		
有形固定資産	1,182,875	1,179,260
無形固定資産	80,878	69,927
投資その他の資産	947,207	965,669
固定資産合計	2,210,961	2,214,856
資産合計	30,412,188	32,584,672
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,681,422	14,602,324
短期借入金	2,500,000	5,200,000
未払金	3,335,235	3,011,347
未払法人税等	104,412	65,811
賞与引当金	142,438	124,991
その他	403,409	259,615
流動負債合計	21,166,919	23,264,091
固定負債		
その他	302,012	299,970
固定負債合計	302,012	299,970
負債合計	21,468,931	23,564,061
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,988,097	1,988,097
資本剰余金	1,944,862	1,944,862
利益剰余金	4,778,813	4,827,640
自己株式	△447	△447
株主資本合計	8,711,326	8,760,153
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	200,099	228,766
その他の包括利益累計額合計	200,099	228,766
非支配株主持分	31,832	31,690
純資産合計	8,943,257	9,020,610
負債純資産合計	30,412,188	32,584,672

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
売上高	64,388,067	69,891,308
売上原価	56,902,103	61,856,002
売上総利益	7,485,964	8,035,305
販売費及び一般管理費	7,288,724	7,757,391
営業利益	197,240	277,914
営業外収益		
受取利息	1,832	1,971
受取配当金	9,652	10,225
業務受託料	14,517	19,391
その他	15,679	16,368
営業外収益合計	41,682	47,957
営業外費用		
支払利息	17,701	18,626
電子記録債権売却損	7,444	7,125
その他	19,474	7,107
営業外費用合計	44,620	32,859
経常利益	194,302	293,012
特別利益		
投資有価証券売却益	19,241	120
特別利益合計	19,241	120
特別損失		
投資有価証券評価損	5,040	4,686
事業再編損	—	11,944
臨時損失	4,971	—
その他	22	0
特別損失合計	10,035	16,630
税金等調整前四半期純利益	203,508	276,501
法人税、住民税及び事業税	64,966	102,372
法人税等調整額	△7,938	4,921
法人税等合計	57,027	107,294
四半期純利益	146,481	169,207
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,612	△142
親会社株主に帰属する四半期純利益	143,868	169,349

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益	146,481	169,207
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	111,858	28,667
その他の包括利益合計	111,858	28,667
四半期包括利益	258,339	197,874
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	255,726	198,017
非支配株主に係る四半期包括利益	2,612	△142

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響の考え方)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

(臨時損失)

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を背景とした日本政府による緊急事態宣言、各自治体からの自粛要請に基づき、イベントを中止したことに伴うキャンセル費用等であります。